

浜松市文化財情報

国文祭は、お城に関するイベントが盛りだくさん!～後編～

10/24から11/8にかけ、「今よみがえる浜松の城」と題し、城跡(しろあと)フェスティバルを開催します。

期間中は、城跡に関するイベントが目白押し!ぜひご来場ください。前編(9月号)と後編にわけて、イベントの概要をお知らせします(詳細はチラシ等を参照下さい)。

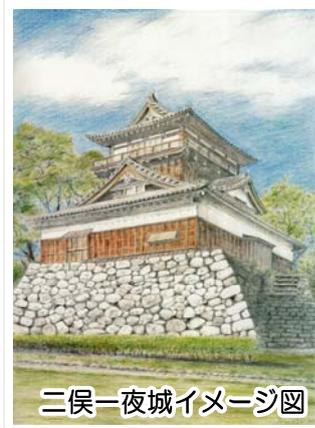
11.1 (日)

◆二俣一夜城と戦国時代絵巻

時間/10:00～ ※雨天中止
会場/城山公園(二俣城跡)

徳川・武田争奪の城として、また徳川家康の長男信康が非業の死を遂げた城として知られる二俣城の城跡に、地元有志「天竜ロマンプロジェクト」が総力を上げて天守閣を復元します。

その天守閣前の広場で、戦国時代を彷彿とさせる火縄銃砲術演武や甲冑武者行列、放鷹術実演のほか、地元天竜区で伝統芸能や武術の継承に取り組んでいる団体の演奏や演武が行われます。



二俣一夜城イメージ図



▲ガイドブック



火縄銃砲術演武

10.25 (日)

◆戦国の城を結ぶのろしりレーと城跡見学会

時間/10:00～ ※雨天中止

会場/市内の主な城跡

浜松市には大小100以上の山城が確認されています。こうした山城の存在を多くの人々に知っていただくこと、古代から遠方との情報伝達に利用された「のろしり」を使い、信州国境の兵越峠から北遠、湖北の主な城を結び、三河国境の本坂峠までのルートで、のろしり上げりレーを行います。

◆のろしりレー ルート(予定)◆



GOAL

◆農村歌舞伎まつり

時間／13:00～16:00

会場／開明座（北区引佐町）

内容／こども歌舞伎の上演とワークショップ

浜松市内には江戸時代から伝わる農村歌舞伎が伝承されています。今回の国文祭では、北区引佐町横尾の開明座を会場に、こども歌舞伎の上演とワークショップを開催します。

こども歌舞伎は、横尾歌舞伎文化財少年団、少年少女三味線教室出演による「寿式三



番 宝の入船」と「仮名手本忠臣蔵七段目 祇園一力茶屋の場」を上演します。このうち、忠臣蔵七段目では、大人でも難しい歌舞伎独特の所作や台詞まわしをこなすだけでなく、1時間にわたる大芝居をこどもたちだけで演じています。

また、ワークショップでは歌舞伎の基本となる所作の解説を中心に、舞台上はもちろん、会場が一体となる演出で、客席にしながら歌舞伎の基本が習得できます。

素朴さの中に伝統の技と美を織り込んだこども役者の熱演と、肩肘張らずに「文化」に親しんでいる姿を是非ご覧ください。



開催場所	イベント	日程
浜松まちづくりセンター	展覧会「徳川・武田争奪の城」	10/24(土)～11/08(日)
クリエート浜松	展覧会「絵図で見る浜松城」	10/24(土)～11/08(日)
	講演会「今よみがえる浜松の城」	11/07(土)
	シンポジウム「三方ヶ原合戦を語る」	11/08(日)
浜松城天守閣	展覧会「三方ヶ原合戦と浜松城」 宮下英樹「センゴク」原画展	10/24(土)～11/08(日)
市内の主な城跡	戦国の城を結ぶのろしりレーと城跡見学会	10/25(日)
城山公園（二俣城跡）	二俣一夜城と戦国時代絵巻前夜祭	10/31(土)
	二俣一夜城と戦国時代絵巻	11/01(日)
	二俣一夜城と戦国時代絵巻ガイドツアー	11/02(月)・11/03(火・祝)
開明座（引佐町）	農村歌舞伎まつり	11/01(日)

文化財日記抄

9月には、こんな調査活動などを行いました。

3日	浜北区新原	東原遺跡見学受入（中瀬小4年生）
8日	中区東伊場他	梶子北・中村遺跡現況確認踏査
9日	浜北区新原	東原遺跡見学受入（中瀬小6年生）
13日	天竜区春野町	秋葉神社刀剣調査
14日	東区豊町	八ッ面遺跡試掘調査
15日	北区三ヶ日町	尾奈居館試掘調査
16日	浜松城	「三方ヶ原合戦と浜松城」展示準備（～18日）
18日	浜北区寺島	寺島地区遺跡分布踏査
19日	浜北区新原	東原遺跡現地説明会（参加者156名）

文化財イベント

■ 10月25日(日)

市指定無形民俗文化財「勝坂神楽」

勝坂神楽奉納

▶正午～／天竜区春野町豊岡

■ 10月31日(土)

県指定無形民俗文化財「川合花の舞」

川合花の舞奉納

▶午後3時～翌朝／天竜区佐久間町川合

■ 11月21日(土) ※要申込み・定員100人

遠州山辺の道を歩こう！

「遠州山辺の道」の岩水寺～庚申寺までを散策します。

▶午前9時集合～正午（小雨決行・荒天中止）／岩水寺（浜北区根堅）西側駐車場に集合～庚申寺（浜北区宮口）に到着後解散

※詳細は、広報はままつ10/20号<浜北区版>を参照

※問い合わせ：浜北区区振興課（Tel 586-6201）

浜松築城440年記念特別展覧会「三方ヶ原合戦と浜松城」

11月23日（祝）まで、浜松城復興天守閣で築城440年記念特別展覧会「三方ヶ原合戦と浜松城」が開催されています。城内では、1572年（元亀3年）の三方ヶ原合戦の様子を描いた「味方ヶ原合戦之図」「天龍川御難戦之図」などの錦絵や、三方原合戦布陣図、さらに家康及徳川十六将図、武田二十四将図（いずれも浜松市博物館蔵）などを見ることができます（展示期間中、随時入れ替え）。パネル展示の「武田信玄の遠江侵攻経路をたどる」では、武田軍が進軍した城や古戦場が紹介されています。

国民文化祭開催中の10月24日から11月8日にかけては、秋葉神社御神宝の武田信玄奉納刀や山本勘介奉納刀、久能山東照宮博物館所蔵の家康及徳川十六将図や落合左平次背旗図（長篠の戦いで磔となった鳥居強右衛門の姿が描かれている）が特別出品されます。



編集後記

「のろし」は、ドラム缶を使うなど方法はいろいろあるようですが、今回の「のろし」は、火が出ない煙のみの発煙筒を使います。高さ4メートルほどの竹ざおの先に空き缶で発煙筒2本を固定し、約6分間ののろしをあげます。天候がよければ、街中からも双眼鏡で見えるかも・・・？（浜松城天守閣でも、のろしりレー見学を行う予定です）